



クラブ誌

久松

2017～2018年度

第2号

NO.497

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B 7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

上半期を終えて

会長
L 涌島 勉



右も左も分からない、まるでペーパードライバーのような私が会長の大役を仰せつかって半年が経ちました。何とかここまでやってこれたのも、松下幹事をはじめ、役員の方々、各委員会の方々、全会員の皆さまの暖かいご支援のおかげです。

深くお礼を申し上げます。

ただ、メインにしたいと思っているアクティビティはスタートラインに立ったところで、未だ方向性が確立しておらず、早急に検討委員会を立

ち上げなくてはなりません。今年度では終わらないかもしれないアクティビティですので、今年度内での輝かしい成果は期待出来ませんが、やり方次第では、ある程度の結果が出せると思っています。皆さん、どうか片目を瞑ってご協力をお願いします。

また、「フリーマーケット」についても資金獲得の一環として、もう少し活発に活用していただきたく、何卒ご協力いただきますようよろしく願いいたします。

CN47周年記念例会

2017年10月26日(木)
18:30～20:30
於白兔会館(ちどりの間)



新年例会

2018年1月11日(木)
18:00～20:00
於白兔会館(ちどりの間)



年男の抱負

L 戸田 暖久



1946年に生まれ、6回目の年男、数えること72歳になりました。拾い上げますと、1946年 戦争に負けて、朝鮮半島から510万人の引揚者があつた年に生まれました。
1958年 その年は、東京タワー完成、一万円札発行
1970年 よど号ハイジャック事件、大阪万国博覧会開催
1982年 ホテルニュージャパン火災発生、日本航空350便羽田沖墜落事故
1994年 大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞、オウム真理教によって松本サリン事件発生
2006年 トリノ冬期オリンピックで荒川静香が金メダル、イナバウアーで世界に記憶された
第1回ワールド・ベースボールクラシック(WBC)が開幕
というような出来事がありました。
60歳になり、若い者にはまだまだ負けなという気持ちでいました。

65歳を過ぎてから、ゴルフのボールが一年一年跳ばなくなり、よく言ったもので65歳からは、前で打つようになっていきます。だが、私はいまだにフロントの白マークで打っています。いくらスコアが悪くてもずっと打ち続けるつもりですが、70歳を過ぎてからやはり、体力の限界が来たのでしょうか、一気に飛距離も落ち、スコアどごろじゃなしに、体と、ボールが反比例してくるようになりました。もうそろそろ、前で打たないといけなかなあと感じている今日この頃です。

まだまだ、7回、8回の年男になっても、仕事、趣味、あらゆる面で頑張つて、最後までボールを追いかける犬のように、諦めず走っていこうと思っている今日この頃の年男です。

歳男の一言

L 吉川 利雄



1946年、昭和21年戌歳、8月生まれ。振り返ればだれも経験・体験してきた過去です。
自慢できそうな思い出、思い出したくない思い出…などなど。
1946年当時の平均寿命は、女性53.96歳、男性50.06歳。それから71年!2017年(平成29年)には、女性87.14歳、男性80.98歳。1946年(昭和26年)生まれの女性の余命は+18.2歳、男性は+14.29歳になるようですが、みんながそうとはなりませんので、そろそろ終末をこれからの課題にする必要性にせまられそうです。
そんな想いのなかで鳥取久松LCのみなさんとどれ位ご一緒できるのか? LIONの使命はご存じの「社会奉仕活動」。

クラブメンバーが一丸となって種々のクラブの活動に参加・実践し実績として残す。これがクラブの足跡なのでしょう。未来は誰にもわからない世界なのですが、切り拓くことができるから生きる力になるのでしょうか?

指に弾ける若さがなくなり、新聞も本も頁がスムーズに捲れなくなりました。ドアノブを握っても指が滑ってドアがさっそく開きません。歩けば一歩が狭く、息切れがじきにすようになってきました。もの忘れは日常茶飯事。これからそう長くは在籍できないかもしれませんが、年齢プラスαで動く都合(私の気持ち)です。本年もどうぞご一緒させてください。

よろしくお願ひします。

年男に思う

L 橋本 和憲



正月の年賀状、年明けの挨拶等で“今年は年男です”という言葉を目にする。生まれた年と同じ十二支の年を迎えた男女が年男、又は

年女であるくらいは知っていたが、あまりその意味について考えたこともなかった。用語の解説では、家々の正月行事、また節目節目の行事

を司る男と言われ、今でもしめ縄飾り、元旦の若水汲み、神棚の飾り付けなどを行い、TV等で見られる節分の豆まきには、その年の干支の有名人、芸能人が登場する様子を目にする。

商売を営む家庭環境から、今年も例年通り年明けとともに氏神様をはじめ数社の神社にお参りし、2月3日の節分には家族全員(子供、孫を含め8人)で氏神様で祈祷をして頂いた。

家族全員が健康で事故の無く、商売繁盛の祈願をして、お札、御守り、金太郎飴をいただいた。煩わしいと思わず、ありがたいと思おうと思いつつ…。どこの神社にも、健康・縁結び・

交通安全・安産・合格祈願・また厄年の厄払いの案内がある。年男は12年目に一度回ってくる一方で、厄年はその年齢になると疲れやすくなったり、心配事から病気、心の病になりやすく事故などにもかかりやすい年頃が古くからその年齢が設定されてきたのではないかとされている。

数え年73歳の年男となった今、一人の高齢者として、偉そうぶらず、邪魔者にもならず、家族からも世間からも親しまれ、自分なりに都合よく我を張りながら、健康で生きていける1年にしたいと思っている。

2018' 年男の抱負

L 宮部 文雄



今年私は、年男であると共に還暦を迎えます。子供たちもそれなりに独立し、山の日生まれの初孫も、今年3歳となります。

東京タワーと同じ昭和33年生まれの私は、昭和の時代を30年、そして平成の時代を同じく30年生きてまいりました。そして来年5月には、新しい年号の時代がやって来ます。

寄稿の依頼を頂いたことをきっかけにして、この新しい時代を如何様に生き抜くべきか？人生の4分の3を消化した今、我が人生を振り返って見れば、9歳で実家新築、19歳で浪人、29歳で結婚、39歳で独立、49歳で開園と、

気がつけば10年周期で人生の大きな変化が起こっていました。意識してではなく偶然そうになっていたことに気づいたのです。

と言うことは、「今年は何にやら、10年に一度の大きな変化が起こりそうな予感です。」

50歳代中頃から、少しずつ衰えを感じるようになりましたが、昨年は防災士の資格を取得し、毎年新しいことにチャレンジする気持ちを強くしております。

これからこそ、わくわくしながら人生を過ごしていきたいと思う今日この頃です。

6LC合同アクティビティ「EM活性液活用事業」

- ◆EM活性液培養 10/13より末恒小学校サイドで培養開始。
- ◆プール投入 10/27(金) 13:30~14:00 於 末恒小学校
- ◇5年生2クラス57名参加 ◇当クラブより6名参加



今年度も6LC合同アクティビティとして「EM活性液活用事業」に取り組むことになり、当クラブは鳥取市立末恒小学校を対象として実施することになりました。



「ふれあい家族会&Xマス」を終えて

財務・計画委員会 委員長
L 原田 宜明



今年度も恒例の「ふれあい家族会&Xマス」が、12月16日(土)白兔会館に於いて開催されました。今年は、L19名・LL8名・LB(大人)4名・LB(中・高生)7名・LB(小学生以下)12名 計50名のご参加を頂きました。



当日は、総務・会場・余興委員会の皆様に全てお任せという形で、私は、実行委員長を務めさせて頂きましたが、一番何もしていない立ち位置となり、申し訳なく思っています。

お蔭様で、大きな問題も無く、全てを終えさせて頂きました。全て皆様のお力のお蔭です。

本当にありがとうございました。



第40回 鳥取市サッカーフェスティバル 後援

2017年11/5(日)
[決勝:11/19(日)]
於 とりぎんバードスタジアム・サブグラウンド他

【開会式】

11/5(日) 11:15~11:45

◆当クラブより6名出席、サッカーボール
(公認試合球)6個を寄贈しました。

【大会結果】

- ◇優勝 イーズ
- ◇準優勝 明德
- ◇第3位 美保・賀露



第45回鳥取市剣道大会 (兼吉川経家祭剣道大会)を後援して

青少年育成等 委員長
L 江本 克也



この時期の朝は寒く、凍えた手をこすりながら、鳥取市武道館に行きました。道場に入ってみると、子供から大人まで、大勢の剣士が準備運動で、体をほぐしているところでした。参加チーム数60チーム、参加者数220名とのことでした。吉川経家のご縁で鳥取市と姉妹提携をしている岩国市からも今年も多数の参加がありました。

開会式には、我が鳥取久松ライオンズクラブから、涌島会長、L吉川、L橋本、L福田、L江本、事務局の6名が出席しました。

2017年11月23日(木)
勤労感謝の日
開会式 9:00~9:30
於 鳥取市武道館



全チーム選手、関係者が整列した後、参加賞等記念品代として3万円を涌島会長より鳥取市剣道連盟の代表の方に贈呈いたしました。

その後、師範による模範演武が行われ、気合の入った動きに、会場にはピンと張りつめた空気が漂いました。応援団の声援が飛び交う球技スポーツとは、また異なる日本古来の武道の素晴らしさを改めて感じました。

「街頭献血」を実施して

社会福祉・環境保全等 委員長
L 武田 行雄



2018年2月4日(日)、13時30分から16時までイオン鳥取北店にて「街頭献血」を実施しました。この取り組みは、毎年恒例事業となっているもので、鳥取県赤十字血液センターに協力し、来店された一般市民の方に「献血協力の呼びかけ」を行いました。

当日は、あいにくの吹雪で大変寒い中、コートなどの上着の襟を立てたり、ポケットに両手を入れて急ぎ足で歩く市民の方が多く、「献血協力」をPRするポケットティッシュをなかなか受け取って頂けないという厳しい状況でした。それでも、当クラブの普段の心掛けが良かったせ



いか、49名の方が受付をされ、その内41名の方が400ccの献血に協力していただきました。

そして、協力いただいた方には、当クラブより粗品ではありますが「保湿ポケットティッシュ」を進呈しました。時節柄、マスクをかけるなど風邪と思われる方が多く、タイムリーで役に立つ粗品だったようで、喜んでいただきました。

最後になりましたが、横殴りの雪が吹き荒れる寒い中、参加いただきました当クラブの皆さま、本当にご苦勞様でした。



【参加者】

L石谷 L小池 L橋本 L福田 L吉川 L武田
しろやま支部 L高岡(美) L福田(栄)
事務局 以上9名

日本ボーイスカウト鳥取連盟東部地区協議会へ インクジェットプリンター1台寄贈

青少年育成等 委員長
L 江本 克也



2月18日(日) 9時より、日本ボーイスカウト鳥取連盟東部地区協議会主催でボーイスカウト運動の創始者「ベーデン・パウエル」の生誕を祝う「BP祭」が、鳥取市立美穂地区公民館体育館で実施されました。

開会式に先立ち、当クラブから「インクジェットプリンター」の贈呈式が行われ、当クラブより、会長L涌島、幹事L松下、会計L吉川、青少年育成等委員長L江本、事務局、以上5名が出席しました。



あ と が き

皆様のご協力で本年度第2回目の会報をお届けします。
「春が来ない冬はない」の言葉通り、日に日に春めいてまいります。
あと少しで桜前線の話となります。
年3回発行のためタイムリーでない編集となりましたが、皆様のご理解を頂きたいと思っております。
今後とも更なるご協力をよろしくお願いします。

(PR・会報編集者委員会委員長 高岡 繁)

- 発 行 鳥取久松ライオンズクラブ
- 事 務 局 鳥取市川端2丁目125 鳥取県不動産会館3F
☎(0857)23-6830 Fax(0857)23-4908
- E - m a i l kyusholc@hal.ne.jp
- 会 長 涌島 勉
- 幹 事 松下 稔彦
- PR・会報編集者委員長 高岡 繁
- 例 会 日 第2・第4木曜日 12:20～13:20
- 例 会 場 白兔会館
鳥取市末広温泉町556 ☎(0857)23-1201